



地震はいつどこで起きるかわかりません。大きな揺れを感じたり、身の回りに危険を感じたりしたら、迷わず行動してください！

## 地震の揺れと想定される被害

### 震度 5弱

- 恐怖感を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

### 震度 5強

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。
- 棚にある食器類や本などが落ちることが多くなる。

### 震度 6弱

- 立っていることが困難になる。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
- 耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れることがある。
- ドアが開かなくなることがある。

### 震度 6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。

※出典：気象庁「気象庁震度階級の解説」

## 避難のポイント(地震)

# 地震発生

### まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。
- 家具やガラス面から離れる。

### 緊急地震速報

地震発生後、大きな揺れが来る数秒～数十秒前にテレビ・ラジオ・携帯電話などに警報を発表するシステムです。震源に近い地域は、緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。

テレビ・ラジオ



携帯電話



防災行政無線



### こんなときは

#### 人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため、係員の指示に従い、落ち着いて行動。

#### 山やがけ付近では

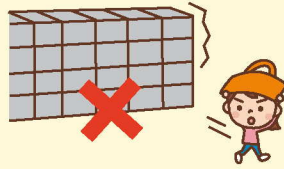
落石やがけ崩れに注意。



#### 路上にいた!

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

**注意** ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。



#### 車を運転していた!

徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に待つ。

**注意** 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。



#### エレベーターの中にいた!

すべての階のボタンを押して、停止した階で降りる。

**注意** 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。



### 揺れがおさまったらまず火の始末

- 火元を確認する。
- 靴をはく。
- 家族の安全を確保する。
- 脱出口を確保する。



### 隣近所の安全確認・火災の発生を防ぐ

- 余震に注意。
- 電気のスイッチは触らない。
- 火をつけない。
- 非常持出品を用意する。
- 隣近所に声をかける。
- 近所に火が出ていたら初期消火。



### ラジオなどで正しい情報入手

- 正しい情報入手。
- 不要不急の電話は避け緊急連絡を優先。
- ブレーカーを落とす。
- エレベーターは使わない。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。(なるべく車は使わない)



### 協力して消火・救出・救護活動

- 壊れた家には入らない。
- 救助活動は一人ではなく複数で行う。
- 水・食料は蓄えているもので。
- デマ情報にまどわされない。



発生から 1~2分

発生から 3分

発生から 5分

発生から 10分~